

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぼぶら園			
○保護者評価実施期間	年 月 日		～	年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	現在、利用児童はいません	(回答者数)	現在、利用児童はいません
○従業者評価実施期間	令和7年9月8日		～	令和7年9月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障がい特性や子供一人ひとりの状況を理解し、それぞれの個性に応じた支援	支援前のミーティングを行う以外にも日々、職員同士が子どもの様子や状況を把握するようにしている。色んな視点から活動内容を留意することでそれぞれに合った支援方法が見つかるように努めている。また学校等との情報共有も大切にしている。	引き続き、学校や相談支援事業所等の関係機関と連携し情報共有を行い、送迎時の保護者様との会話も大切にしている。
2	土曜日・長期休暇の時は、普段の療育の他に様々な経験を楽しみながら参加出来るように野外活動やクッキングを取り入れている	プールと体操教室を行い体を動かしたり、クッキングや公園・季節にちなんだもの・子供たちの興味のあること等を取り入れることで社会性や生活面を楽しみながら伸ばせるような企画をしている	今後も子供たちの興味や関心を考慮しながら、楽しく参加できるような行事を企画していく
3	信頼関係を構築できるように、児童の気持ちに寄り添うことを意識し、自分の居場所と感じられるような環境づくりに努めている	子供たちの意思や気持ちの表出を大切にすると共に安心につながるように共感する支援を行う。お子様が選択できる環境や機会を積極的に作ったり、伝えてくれた要望に対して前向きに検討している。	職員間で連携を取りながら、一人ひとりとの関わりを大切にしていき、今後も支援の充実を高めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の関わりや家族に対しての研修会等の開催ができていないこと。	父母の会等の開催が出来ておらず保護者様同士が顔を合わせる機会が少ない。 就労している方も多く、営業時間中に開催することが難しいと感じている。	保護者様が参加できるイベントの開催や、外部研修の情報を配信できるよう情報収集に努める。
2	HP等で発信出来ていない。	各マニュアル等は作成後HPに掲載しているが、保護者様への周知が足りていない。ブログの更新も個人情報の配慮が必要な為、ネットでの公開が難しいことがある。	月1回発行している活動記録の写真を掲載した園だよりの継続や送迎時の申し送りにおいて、活動の様子を伝えていく。保護者様のニーズを確認しながら、環境が整い次第SNS等も検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぽぷら園

公表日 令和7年10月20日

利用児童数 0

回収数 0

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。						
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。					
	29	事業所の支援に満足していますか。					

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ほぶら園
------	------

公表日 2025年10月20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		人数によっては室内外での活動にわけ等の対応をしています。	利用人数や支援内容によっては手狭に感じることある為限られたスペースでの環境整備が必要と感じます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		規程には達しています。	支援内容や児童の特性に合わせて、規程以上の人員を配置できるよう、柔軟な体制の確保を目指していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		ほとんど段差なくフラットな作りです。その日の予定は視覚的に分かるよう絵や言葉を用いたカードを貼っています。	個々に合わせた環境配慮に努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		支援前、支援後に掃除や消毒作業を行っています。	今後も安心・安全に過ごしていただけるよう環境整備を行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		本人の気持ちの切り替えなどで個別に対応する場合、必要に応じて別室で対応しています。	今後も安心して過ごしていただける環境づくりに努めます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		朝礼にて一日の流れ、共有事項の確認を行っています。	朝礼に参加していないスタッフへの情報共有に努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		年に一回実施し保護者様の意向を職員全員が把握し業務改善につなげています。	保護者様から頂いた、ご意見をもとに、より良い支援ができるよう努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		職員ミーティングで意見交換を行い、検討・改善につなげています。	今後も、意見の出しやすい仕組みづくりと風土を築くことで職員ミーティングでの意見交換を充実させ、業務改善に努めていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	堺市の事業者育成事業に申し、業務改善に繋がっています。	今後も継続して行ってまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		外部研修には積極的に参加しています。参加した者は会議録をまとめて全職員に共有しています。内部研修も定期的に行っています。	今後も定期的な内部研修の実施と外部研修へ参加し、知識、技術の向上に努めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		支援プログラムを作成しHPに掲載しております。	保護者の皆様が周知出来る様努めます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		定期的アセスメントを行い、児童の状況や保護者様のご意向を踏まえ適切に支援計画を作成しています。	子どもの意志の表出・形成・表明・実現の過程を大切に、適切なアセスメントを行えるよう努めてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		子どもに関わる職員が共通理解を図るため、ミーティングを開催し情報共有を図っています。	職員間の共通理解の拡充を図るため、非常勤職員との情報共有の機会も増やしていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		日々の記録を元に立案し、会議にて決定しています。週単位で目標設定し支援を行っています。	今後も継続して行ってまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		標準化されたツールを使うとともに、必要に応じて改善を行っています。	今後も、日々の行動観察の共有を大切にしていきます
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		児童発達支援ガイドラインを基に、児童の状況や課題、保護者様のご意向から必要な支援内容を組み合わせ設定し、計画を立てています。	ガイドラインについては、内容や重要事項について職員間での共有に努めます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		職員間で個々の児童の成長、特性に合わせて支援計画を元に行っています。	個に応じたきめ細かいプログラムを提供できるよう努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		休日は野外活動やクッキング、買い物学習を中心に行い、季節行事(夏まつり・クリスマス会)も取り入れ楽しく色々な経験ができるように活動しています。	情報収集に努め固定化しないよう取り組んでいきます

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		支援の目的や児童の状態に応じて対応できる体制をとっています。	今後も子供の状況に応じて、臨機応変に対応していきます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎朝、当日の流れや、支援内容・役割分担について確認を行い、その都度確認するようにしています。	朝礼に参加していないスタッフへの情報共有の徹底に努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	送迎などで難しい場合もありますが、支援の中で気づいた点や気になる事などは都度伝えあい共有しています。	気づきについては、普段から職員間で共有できるようにそれぞれの発信を大切にしています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々記録を取り、支援の検証、改善に努めています。	子どもの姿を適切に捉え、誰が読んでも分かりやすい記録の書き方に留意していきます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年に一度、モニタリングを行っています。児童の様子や保護者様からの意見があればその都度、相談見直しをしています。	今後も継続して行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		問題ごと等があればその都度関係機関と連絡を取り情報共有に努めています。	今後も継続して行ってまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		送迎時や必要に応じて電話連絡にて情報共有を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8			積極的に連携をとりたいと思います。
保	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		8	現状、交流の場はございません	利用者、保護者様の要望を確認しながら実施を検討していきたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時には保護者様に当日の活動内容の様子をお伝えするようにしています。必要に応じて電話連絡をしています。	送迎時の情報共有や、定期的な聞き取りを継続していきます。また、それ以外でもご希望がある際は面談を通して共通理解に努めます
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		8	現段階では実施や情報提供が出来ていません。	ご家族様に対する支援・参加できる研修の機会を設けられるよう日程調整を課題としています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時や変更事項が生じた場合は、保護者と対面等で丁寧な説明に努めています	分かりやすい丁寧な説明を心掛けていきます
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		保護者の意向やニーズはもちろん、子どもの気持ちや意思も尊重しそれぞれの子供にとって最適な支援計画を作成するように努めています	子供の意思の尊重と最善の利益の優先考慮も踏まえた上で意思形成支援、意思表明支援も合わせて行ってまいります
	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		保護者様へ個別支援計画の内容をお伝えし同意を頂いています。	丁寧な説明を心掛けていきます。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		送迎時の情報共有の他に、電話連絡や個別での面談に対応しております。	日頃の話しやすい雰囲気とコミュニケーションを大切にしていきます。	

護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8	令和7年度より、保護者様が参加できるイベントの実施を予定しています。	現状きょうだい同士で交流する場はもうけていませんが、ニーズを聞き取りながら検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		お子様や保護者様から相談の申し入れがあった際には適宜対応させて頂いております。	相談しやすい環境づくりに努めてまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月、予定表や活動記録を紙面にてお渡ししております。	HPはありますが、十分な活用に至っておりません。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		事業所内では鍵のかかる場所に個人情報を保管しております。	個人情報については細心の注意を払うよう努めてまいります。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		個の特性に応じた情報伝達に努めています	出来る限り配慮していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	事業所の行事に地域の方が参加する機会は今の所ありませんが、お買い物学習にて交流することがあります	施設の規模等から地域の方を招待するイベントの開催は難しいと考えています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルを策定し、ホームページに掲載しております。また、定期的な訓練を行っております。	定期的なマニュアルの見直しと訓練の実施に努めていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCP計画は策定済みです。定期的な訓練を行い実際に災害が発生した際も迅速な対応ができるよう取り組んでいます。また、実施時は記録を残しています	BCPに関しては、研修などを通じて理解を深められるよう努めます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		事前に保護者様からのアセスメントシート記載をもとに職員に周知しています	服薬内容の変更等も、適宜聞き取りを行い最新情報の共有に努めます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		保護者様からの情報（医師の指示、指導）に基づき、対応する事としています	おやつを提供しているので、細心の注意を払っております。事前聞き取りやご提出書類等で確認しておりますが、変更等に備え適宜聞き取りを行ってまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画に基づき、定期的に環境整備を行っております。	安心・安全な空間で支援できるよう努めていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		安全管理に関する事項について、日頃から職員間で共有しております。	職員間での周知にとどまっております。今後は保護者様への周知にも努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		口頭、書類で共有しています。事例発生時にはその都度記録を残し、対策を話し合い実践しています。	今後も継続し事故防止に努めてまいります
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		定期的に虐待防止に関する研修（社内・社外）に参加しています。疑われる事案についてはミーティングの場で協議検討、対応しています。	今後も継続して行ってまいります
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		身体拘束に関しては、ご契約時に説明しており、計画書に記載の上事前に保護者の同意・了解を得ております。	事案がある際は適切に対応していきます	